

平成25年10月1日

社団法人 日本外食品卸協会

TEL 03-5296-7723

## 平成25年度第3回理事会、外食品流通活性化セミナー、情報交流会11月19日開催予定

外食協は、標記の会議等を平成25年11月19日（火）に開催を予定し準備を進めている。この期の理事会は、例年、外食産業フェアの実施報告が主要議題であるが、今年度は、協会の運営全般の課題について議論することになる。また、「外食品流通活性化セミナー」では別掲にもあるように、農林水産省が検討を行ってきた「これからの介護食品をめぐる論点整理の会」の報告を主に農林水産省食料産業局担当官にご講演を頂くこととしている。更に、情報交流会は前年通り開催しますので、多くの正会員、賛助会員の皆様のご参加をお待ちしています。

## 外食協、「公益社団法人」への移行認定申請中

外食協は、公益社団法人への移行認定申請を7月26日に行に行い、現在、内閣府で審査中です。

## 外食協、大阪・東京で「外食品流通活性化セミナー」を開催予定

外食協は、「安全・安心な外食食材の安定供給、適正取引等のための普及啓発事業」の一環として標記セミナーを開催することとし、平成25年度第1回を大阪で10月23日、第2回を東京で11月19日に開催を計画しています。両者ともテーマは「これからの介護食品をめぐる論点」、講師は農林水産省食料産業局担当官に依頼しています。従って、講演内容や配付資料は同じものとなりますので、どちらを選択されてもよろしいかと思えます。詳細は協会ホームページに掲載していますし、協会関係者にはFAXにてもご案内しますのでふるってご参加ください。

## 第64回外食産業フェア（大阪）盛会裏に閉幕

外食協は、標記フェアを平成25年9月11日から同13日までの3日間、インテックス大阪3号館で開催した。初日の9時45分から開会式が行われ、主催者代表挨拶を尾家亮会長、来賓祝辞を山田啓二農林水産省食料産業局食料産業調査官、出展社代表祝辞をキューピー(株)斎藤謙吾フードサービス本部長、開会宣言を大月近畿支部長がそれぞれ行った。テープカットも以上の4氏により行われた。今年の統一テーマは「美味しさと幸せ感じる食の祭典（月に一度は家族で外食を）」、また、今年も東日本大震災被災地支援のため「食べて応援しよう！ー（東北コーナー）」が設けられた。出展社数は75社（前年71社）、出展小間数は159.5小間（前年154.5小間）、3日間の入場者数は、13,107人（前年15,397人）で盛況のうちに閉幕した。

## 農林水産省「介護食品のあり方に関する検討会議」の第1回を開催へ

農林水産省は、平成25年2月から7月にわたり開催した「これからの介護食品をめぐる論点整理の会」において纏められた論点について具体的議論を行うため、「介護食品のあり方に関する検討会議」を設置し、その第1回を平成25年10月1日に一般公開で開催する。一般公開であるので傍聴が可能。また、会議の結果については、次月号で報告します。

## 消費者庁「アレルギー表示の見直し」を行う

消費者庁は、平成25年9月20日付け消食表第257号で、加工食品のアレルギー物質として表示を推奨する品目（特定原材料に準ずるもの）として「カシューナッツ」と「ゴマ」の2品目を新たに追加したこと、及び事業者に対して、来年の8月31日までにこの2品目の表示に努めることを求めている。

[支部だより]

## 第23回NAGOYAフードビジネスショー(名古屋)準備作業順調

標記フェアは、平成25年10月22～23日の2日間、名古屋国際会議場イベントホールで開催されます。現在、金森新支部長の基で準備作業真っただ中。今年度は企画運営面での食糧新聞中部支社の協力もあって現在のところ出展小間数が前年に比べ28小間増加している。地域特産物コーナーの設置をはじめ、調理実演イベント、特設会場では、東海3県調理師会とのコラボ「地産自創」と安心・安全をテーマとする創作料理分野別コンクール等盛沢山な催しが計画されています。是非ご参加ください。

